



逢いたいときに  
いつでも逢える名画の館

## 大川美術館

閑静な水道山の中腹から桐生のまちを一望する大川美術館は、桐生市出身の大川栄二氏（1924～2008）が約40年にわたって収集した日本・海外のコレクションを多くの人に見てもらおうと平成元年に開館。館内は5階建てで多数の小さな展示室が連なる奥深いユニークな構造になっている。元々あった企業の社員寮を美術館として改装しており、連続する展示室を抜けると突然ティーラームと中庭が現れるなど、まるで迷路を巡るように作品を鑑賞することができる。

大川美術館では日本近代洋画を代表する松本竣介や野田英夫、また彼らと人間的につながりのあった画家の作品を中心に約7,300点を収蔵している。さらに、竣介と野田に強い影響を与えたピカソ、ルオー、モディリアーニ、ベン・シャーンらに代表される海外作品も多数コレクションしており、私設美術館としては充実した収蔵品を誇る。

「絵は人格」であると考え、収蔵作品の中から画家の人脈をたどるユニークな展示を常設しており、特に竣介については「松本竣介記念室」を開設し、油絵からデッサン、カット、資料までを展示している。また、近代日本美術の流れを鳥瞰できるコーナーも用意され、明治期から現代まで各年代の作品を網羅している。

各展示室には、ソファを配置するなどの工夫がなされ、自宅で絵画を見ているような落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと鑑賞することができる。大川美術館はロケーションからコレクションの質・量・ユニークさなど、どの観点からも桐生が誇るべき「名画の館」。たまには日頃の喧騒を忘れて、名画に抱かれるひと時を過ごしてみては。

11月8日まで企画展「戦争の時代を生きた画家たち」を開催中。



- 場 所／桐生市小曾根町3-69 ●電 話／0277-46-3300 ●休 館 日／月曜日
- 会館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 入 館 料／一般1,000円 高・大生600円 小・中生300円 ※20名以上の団体20%割引
- H P／<http://okawamuseum.jp/>